

飛び入学に関する
自己点検・評価報告書

令和5年5月

京都大学医学部医学科

飛び入学に関する自己点検・評価報告書

自己点検・評価の状況について

飛び入学に関する自己点検・評価の実施状況（実施時期、実施体制、評価結果の概要、評価結果の公表方法等）について

実施時期：令和5年5月

実施体制：医学部 医学科

評価結果の概要：評価項目は全体評価、広報について、選考方法について、受入体制について
評価結果の公表方法：医学部ホームページにて公表する。

1. 飛び入学の趣旨等について

1-1 飛び入学を実施する趣旨

飛び入学に限定した入試は行っていない。高校3年生を対象とした特色入試において、自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ、医学研究者としての資質・適性を持つ人材であり、さらに、国際科学オリンピックの日本代表で世界大会に出場した経験を持つ者については、高校2年生であっても受験資格を与えることで門戸を開いている。

1-2 飛び入学をする学生に求める資質

自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ、医学研究者としての資質・適性を持つ人材

2. 入学者の選考状況について

2-1 飛び入学による受入状況について

募集分野(学部・学科名)	募集人数	志願者数	入学者数
特色入試(医学部医学科)	5人	9人 (内、飛び入学該当者 0人)	2人 (内、飛び入学該当者 0人)

2-2 出願に際して大学として工夫していること

募集要項、選抜要項に加え、ポスターなどを作成し、高等学校や教育委員会等に配付した。
なお、志願者の資質を知り得る者として学校長の推薦等を要件とした。

2-3 具体的な選考方法及び選考方法について工夫している事項について

・選考方法(小論文・面接等)

第1次選考

提出書類(調査書、推薦書、「学びの設計書」、TOEFL iBT スコアレポート、各種コンクール・国際科学オリンピック等に関する資料)の内容により選考を行う。

第2次選考

口頭試問、及び面接試験の成績により選考する。

口頭試問：物理・化学・生物に関する資料を読んでレポートを作成し、それに基づく口頭試問を行い、論理的思考力、文章構成力などについて評価する。

面接：医学研究者、医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価する。

- ・選考方法について工夫している事項(出題内容・出題意図等)

飛び入学対象者に限定した選考は行っておらず、選抜方法については、高校3年生と同じ選考方法・基準を適用している。

3. 入学後の教育内容及び指導体制について

3-1 教育内容の特色について

飛び入学生に限ることではないが、特色入試により入学した者はMD研究者育成プログラムに参加して研究活動等を行い、将来的にはMD-PhDコースを目指す。

3-2 指導体制の特色について

飛び入学で入学した者については、専任教員がチューターとなり、履修や研究、学生生活の相談や指導、助言に当たることとしている。

3-3 学生の在学状況について

入学年度	入学者数	在学者数 (4月末日見込み)	転学者等
平成2年度	0人	0人	0人
令和3年度	1人	1人	0人
令和4年度	0人	0人	0人
令和5年度	0人	0人	0人

4. 大学と高等学校等との連携に関する取組状況について

公開講座の開設、科目等履修生の受入れの状況等について

飛び入学に目的を限定した入試制度ではないため、飛び入学に向けての高等学校との連携は行っていない。

5. 自己点検・評価の総括及び今後の取組みについて

5-1 飛び入学に関する自己点検・評価を総括するにあたり、制度導入から指導受け入れ体制の状況について評価した結果について

令和3年度に入学した1名については、在籍中の良好な修学状況等から指導体制は円滑に行われていたと評価できる。

5-2 今後の取組みについて

次年度の実施に向けての取組み

今後、入学資格に基づく実績の分析とフィードバックが必要と考えられる。

以上